

技術士のキャリア形成スキームについて

日本技術士会 原子力・放射線部会
新技術士講習会
2018年4月20日

試験合格は通過点！

試験合格おめでとうございます。

技術士試験合格は、 技術者キャリアの「過程」

- 技術者としての自分のキャリアをどのようにプランニングしていますか。
- 自分の思い描いている「キャリアプラン」の中で、技術士に求められている資質・期待をどのように意識していますか？

どんな「技術士」を目指していますか

どんな「技術士像」が
求められているのでしょうか

求められる技術士像

技術士像は常に「変化」する

1951年 日本技術士会設立

1983年 技術士法改正

2000年 技術士法改正⇒**継続研鑽（CPD）は技術士の責務**

⇒APECエンジニア受付開始

2003年 技術士試験における技術部門の見直しについて

2004年 「技術士ビジョン21」

原子力・放射線部門設置

CPDが技術士の責務となったあとに設置された部門⇒**原子力・放射線部門の技術士は全員が「技術士ビジョン21」世代**

2006年「技術士プロフェッション宣言」

⇒技術士の行動原則、プロフェッションの概念

2008年 EMF(現IPEA) 受付開始

原子力・放射線部門の技術士の8割以上が「技術士プロフェッション宣言」後、二次試験合格

2011年 技術士倫理要綱改定

2018年12月 今後の技術士のあり方について（文部科学省）

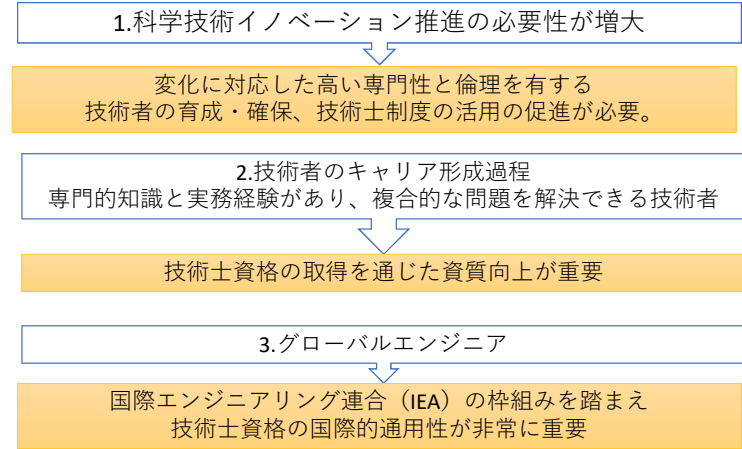
今後も「技術士」であるためには？

今後、技術士制度は

どのように変化しようとしているでしょうか

今後の技術士制度の在り方

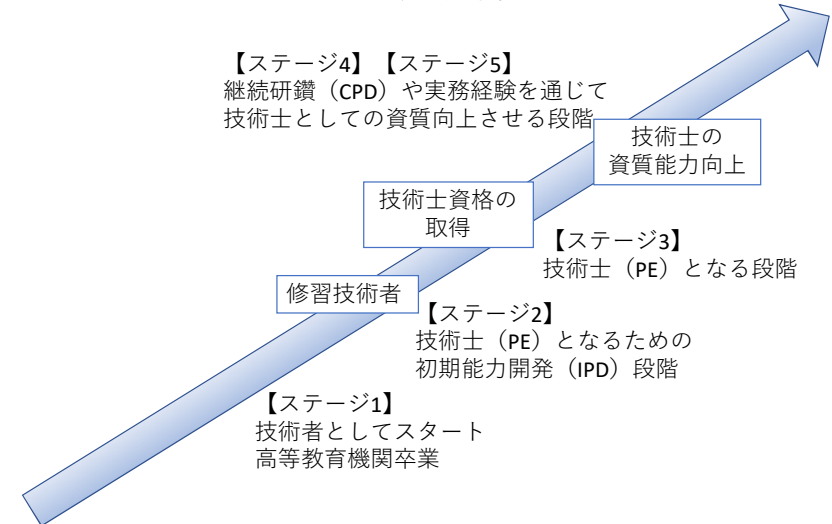
基本的な考え方



技術者キャリアと技術士の資格

その関係は？

技術者のキャリア形成過程における技術士資格の位置づけ



技術士としての資質能力

どんなことが必要でしょうか

国際エンジニアリング連合(IEA)の専門職として
身に付けるべき知識・能力(PC)を踏まえた

技術士に求められる7つの 資質能力(コンピテンシー)

1.専門的学識

業務に必要な専門知識、わが国固有の法令等の制度や社会・自然条件を理解し応用

2.問題解決

複合的な問題の分析、解決策の提案、改善

3.マネジメント

業務計画の過程・生産性とリスク対応に関する要求事項または成果物に係る要求事項を満たすことを目的として、人員・設備・金銭・情報等の資源を配分すること。

4.評価

最終的に得られる成果やその波及効果を評価し、次段階や別の業務の改善に資すること。

5.コミュニケーション

多様な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通をおこなうこと。海外における業務に携わる際には、一定の語学力による業務上必要な意思疎通に加え、現地の社会的文化的多様性を理解し関係者との間で可能な限り協調すること。

6.リーダーシップ

明確なデザインと現場感覚を持ち、多様な関係者の利害等を調整し取りまとめることに努めること。多様な価値観や能力を有し、関係者とともに、プロジェクト等の事業の遂行に努めること。

7.技術者倫理

技術士としての使命、社会的地位及び職責を自覚し、倫理的に行動すること。
関係法令の制度が求めている事項を遵守すること。
自らの職務および責任の範囲を明確にし、これらの責任を負うこと。

責務としての継続研鑽（CPD）？

具体的な目的意識を持った継続研鑽？

継続研鑽(CPD)

資格取得後も継続研鑽(CPD)を通じて、知識および技術の水準を向上させ、その資質向上を図ることが重要

技術士CPDの目的

技術士CPD(継続研鑽)ガイドライン 第3版(平成29年4月)より

- ①技術者倫理の徹底
- ②科学技術の進歩への関与
- ③社会環境変化への対応
- ④技術者としての判断力の向上

「なんとなく」「必要だから」ではなく
「〇〇を向上させたい、知りたい」という意識をもってCPD活動していますか？

活躍する場

国内でもグローバル化は進んでいます。

技術士資格の国際的通用性

近年のグローバル化に伴い、国際的な変化に対応し、国内外で活躍する技術者への需要が拡大



日本の技術者が国際的にその資質能力を適切に評価され活躍できるよう、技術士資格の国際的通用性を確保することが重要。

自分だけではなく

後進育成

己の成長だけでなく、
科学技術の発展に携わる人を育てることが必要。



ともに成長、共育！

社会貢献
技術継承活動
技術者育成活動など

キャリアプランの メンテナンス

今までのキャリア これからのキャリア

1. 今までのキャリア

技術者としての「スタート地点」はいつでしょう
か
技術士試験を受験しようと思ったのはいつでしょう
うか

2. 試験合格後のPEキャリア・プラン

- .これから身に付けたい、挑戦したいことは？
- .いつ頃、何をしたい？
- .どのような場で自分の能力を発揮したい？
- .どんなことを将来の自分に期待している？



「技術士キャリア」のPDCA+S

年1回は自分のプランを見直そう！

予想と違った原因、要因を分析し、改善策を検討しよう。
目標が「今、求められている技術士像」と差異はないかも見直してみよう。

経過と結果は山あり、谷あり。
どんな経過・結果でも、努力と経験、身についたことはある。
それを無とするか、次回へのステップとするかは自分次第。

どう確認するか？ 例：部会活動への参画
技術士会HPを利用した情報収集
各活動を通じた情報交換
技術士試験問題を利用・・・など

技術士試験は、産業の動向、社会的な要請・ニーズを考慮するとともに、
技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)を踏まえ、複合的なエンジニア
リング問題を技術的に解決できる能力を念頭に検討されている。

おわりに

科学技術だけでなく、社会の変化にも対応してこそ「技術士」・・・これからも、今までも。

スパイラルアップを意識した活動、行動、研鑽を。

技術士会・部会・委員会を活用して、共に技術士として活躍・活動していきましょう！